

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福山市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県福山市

3 地域再生計画の区域

広島県福山市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、国勢調査によると、2015年の464,811人をピークとして、2020年には460,930人に減少している。住民基本台帳によると2021年には463,324人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2040年には44万人に、2060年には40万人を下回り、39.5万人になると見込まれている。

年齢3区分別の推移をみると、1995年から2065年にかけて、年少人口は77千人から48千人、生産年齢人口は311千人から207千人と減少を続け、高齢者人口は65千人から142千人と増加し続けており、2045年にピークを迎え、その後は減少に転じる見込みである。2020年の年齢3区分別人口は、年少人口が60,655人、生産年齢人口が260,383人、高齢者人口が132,167人となっている。高齢化率については、2055年に33.6%となり、その後も高い水準のまま推移する見通しである。

合計特殊出生率は、継続して全国や広島県の平均を上回り、2019年は1.60となっている。経年でみると、2005年から2011年までは上昇していたが、その後はやや低下傾向にあり、近年は1.6台で推移している。

自然増減については、2012年には死亡者数4,566人が出生数を4,310人上回る自然減となり、以降自然減が続いている。2019年には▲1,449人の自然減となっている。

社会増減については、2013年に転出者数10,930人が転入者数10,696人を上回り、以降社会減が続いている。2019年には▲624人の社会減となっている。社会減

の状況については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響下にあった 2020 年を除き、女性の転出超過が大きい傾向となっている。また、年齢別に見ると、20 歳代の転出超過が最も多い状況が続いている。

人口減少が進むことで、公共交通の利用者が減少し、維持・確保が難しくなるなど、生活利便性が低下することが考えられる。また、地域の担い手が減り、コミュニティの維持が困難になることが懸念される。

人口減少を抑制するため、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに設定した政策ターゲットの満足度を高める政策が必要とされている。また、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能な都市を形成するためのコンパクト・プラス・ネットワークの考えを踏まえつつ、生活に必要なサービスを維持・提供していく必要がある。

こうした課題に対応するため、「新たな分散型社会の下で、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市」をめざし、デジタル化の推進などにより、大都市圏等から人や企業を呼び込む環境をつくるとともに、誰もが柔軟にライフスタイルを選択できる、新たな分散型社会の実現をめざしていく。

具体的な事業は、以下の事項を本計画における基本目標として掲げ実施する。

- ・基本目標 1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造
- ・基本目標 2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現
- ・基本目標 3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築
- ・基本目標 4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興
- ・基本目標 5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	福山駅周辺のウォークアブル	約50.0%	約60.0%	基本目標1

	エリア内の歩行空間の割合			
	伏見町・三之丸町・東桜町・元町の従業者数	7,216人	7,600人	
	伏見町の流動客数	平日 1,051人 休日991人	平日 1,140人 休日1,190人	
	総観光客数	3,792千人	6,600千人	
	観光消費額	18,723百 万円	34,200百 万円	
	外国人観光客数	13千人	87千人	
	M I C E開催件数	16件	77件	
	M I C Eの運営やおもてなしにボランティアで関わる市民の数	—	100人	
	世界バラ会議福山大会開催の市内認知度	15.6%	80.0%	
イ	「この地域で子育てをしたいと思う親」の割合	94.7%	96.0%	基本目標2
	男性の育児休業の取得率	9.2%	30.0%	
	合計特殊出生率	1.60	希望出生率 (1.90) と の差の縮小	
	平均寿命と健康寿命の差	男性 1.29 年 女性2.87 年	平均寿命と 健康寿命の 差の縮減	
	要介護（要支援）認定率	要支援 1： 5.2%	要支援 1：5. 3%	

		全体：20.7 %	全体：22.2 %	
	結核り患率（人口10万人対）	10.5人	9.0人以下	
	人口10万人当たりの医師数	産科・産婦人科 8.9人 小児科 10 .8人	産科・産婦人科 9.5人 小児科 11 .4人	
	人口10万人当たりの看護師数	984人	1,222人	
	小児科医師数（福山市民病院）	11人	11人	
	福祉施設から一般就労への移行人数	36人	57人	
	後発医薬品の使用率	80.4%	84.0%	
	被保護者の就労支援プログラム参加率	19.0%	65.0%	
ウ	市民一人当たりの分配所得	2,916千円	3,039千円	基本目標3
	びんごデジタルラボに参画する市内企業数	—	150社	
	創業件数	192件	225件	
	ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者数	135事業者	155事業者	
	採用面接をオンラインで行う企業の割合	21.7%	70.0%	
	市内大学卒業生の地元就職率	28.3%	32.5%	
	青果物・水産物の市内生産・漁獲流通額	850,519千円	875,710千円	

	森林整備面積（公益的機能の維持増進）	19.45ha	20.00ha	
	学校給食への市内農産物の使用量	120.4t	150.0t	
	国道2号交通量	約4.8万台	約3.2万台	
	福山港鋼材（バルク）輸血量	515万t	788万t	
	福山北産業団地第2期の造成・分譲	—	分譲5件	
	建築物の耐震化率	多数の者が 利用する建築物 90.9% 住宅 82.3%	多数の者が 利用る建築物 96.0% 住宅 90.0%	
	防災リーダーの登録者数	262人	570人	
	総合防災訓練の参加人数	16,077人	60,000人	
	刑法犯罪認知件数	2,102件	2,100件	
	救急・救助資格者数	救急資格 456人 救助資格 205人	救急資格506人 救助資格280人	
	公共交通機関利用者数	14,928千人	19,810千人	
	温室効果ガスの排出量	29,286千t-CO2	26,714千t-CO2	
	ごみの排出量	152千t	142千t	
	環境講座参加者数	3,766人	10,000人	
エ	学力の伸びた児童生徒の割合	65.6%	75.6%	基本目標4

	合			
	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童生徒の割合	小学校 77.7% 中学校78.3%	小学校 80.0% 中学校 80.0%	
	交流館、公民館グループ・サークルの数	1,792団体	1,900団体	
	まちづくりに関心がある市民の割合	70.1%	75.0%	
	ボランティア・NPOなど市民活動団体数	197団体	220団体	
	地域のまちづくりの拠点となる交流館数	3カ所	13カ所	
オ	歴史・文化・芸術に誇りを感じる人の割合	歴史・文化資源 34.0% 文化・芸術・伝統行事・伝統料理 12.1% ばらのまちづくり 35.1%	歴史・文化資源 49.0% 文化・芸術・伝統行事・伝統料理 20.6% ばらのまちづくり 43.9%	基本目標5
	文化施設などの利用者数	芸術文化施設 196千人 郷土歴史施設	芸術文化施設 707千人 郷土歴史施設	

		39千人	255千人	
	歴史・文化資源に関する市民の認知度	19.0%	36.5%	
	週1回以上のスポーツ実施率	45.7%	62.0%	
	スポーツ施設の再編	—	備後圏域の拠点となる庭球場・屋内水泳場の完成	
	市スポーツ施設延べ利用者数	686千人	1,450千人	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

福山市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造事業

イ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現事業

ウ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築事業

エ 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興事業

オ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出事業

② 事業の内容

ア 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造事業

福山駅周辺の玄関口機能の強化，戦略的な観光振興，M I C E の推進を柱として，福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 未来を切り拓くプレーヤーの育成
- ・ 居心地の良いウォーカブルな都市空間の整備
- ・ 観光資源の発掘・磨き上げと発信
- ・ 外国人観光客の受入環境の向上
- ・ 産業M I C E ・ エリアM I C E の推進
- ・ 推進体制の構築・人材育成
- ・ 国際M I C E の誘致推進 等

イ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現事業

福山ネウボラの強化，人生 100 年時代の健康づくりと感染症対策の強化，医療提供体制の強化，福祉の充実を柱として，希望の子育てと寛容で健やかな社会を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 妊娠期からの切れ目のない総合的な支援体制の充実
- ・ 子育て世代が将来の展望を描ける環境づくり
- ・ 子どもの豊かな成長を支える保育の充実
- ・ 援助を必要とする子どもや家庭への支援
- ・ 次世代ヘルスケアの推進
- ・ 福山版フレイル予防の推進
- ・ 新たな感染症の発生時などにおける健康危機管理体制の強化
- ・ 戦略的な医療政策の実施
- ・ 広域連携による地域医療体制の確保・充実
- ・ 福山市民病院の増改築整備
- ・ 障がい者に対する理解促進と支援体制の強化
- ・ 保険制度の健全な運営
- ・ 自立支援の推進 等

ウ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築事業

循環型地域経済の形成，多様な働き方と新たな人の流れの創出，農林水

産業の振興，都市基盤の強化，防災・減災の推進，安心・安全な暮らしの確保，環境にやさしいまちづくりを柱として，**人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築**を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・企業の経営力強化
- ・起業・創業支援や企業誘致の促進
- ・地域経済循環構造の形成
- ・多様な働き方による人材の確保
- ・幅広い人材の活躍支援
- ・企業が求める人材の確保
- ・生産性の向上と担い手の育成・確保
- ・農林水産物の販路拡大とブランド化の推進
- ・農山漁村地域の活性化
- ・交流・物流ネットワーク機能の強化
- ・成長産業などの受け皿整備
- ・予防保全型の老朽化対策の推進
- ・抜本的な浸水対策の推進
- ・災害に屈しない強靱なインフラ整備などの促進
- ・地域防災力の強化
- ・迅速な避難行動につながる市民の防災意識の変革
- ・交通事故・消費者トラブルの未然防止
- ・消防，救急・救助体制の充実
- ・地域交通サービスの充実・スマート化
- ・快適な生活環境の整備
- ・低酸素・循環型社会の構築
- ・地域環境の保全
- ・持続可能な社会を担う人づくり 等

エ 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興事業

未来を切り拓く教育，多様性ある地域コミュニティづくりを柱として，**新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興**を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 福山 100N E N教育の推進
- ・ 新たな時代に活躍する人材の育成
- ・ 社会教育・生涯学習の推進
- ・ 地域の個性に応じた取組の推進
- ・ 持続可能な地域コミュニティの形成
- ・ 全ての人が大切にされる人権文化が根付いたまちづくり
- ・ まちづくりの拠点の再構築 等

オ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出事業

歴史・文化の薫まちづくり, スポーツによるにぎわいづくりを柱として,
歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 歴史・文化資源の保存と活用
- ・ 文化・芸術活動の推進
- ・ 鞆のまちづくり
- ・ 世界バラ会議に向けたばらのまちづくり
- ・ ライフステージに応じたスポーツの実施促進
- ・ ジュニア世代を中心とした競技力の向上
- ・ プロスポーツ大会の誘致などによるにぎわいの創出
- ・ 魅力的なスポーツ拠点の創出 等

※1 なお、詳細は「福山みらい創造ビジョン」のとおり。

※2 ただし、「鞆の歴史・文化を未来へ繋ぐまちづくり事業～「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト～」の5-2-⑥に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は、同②に位置付けられる事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

12,500,000 千円（2021 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 7 月頃に外部有識者による効果検証を行い，翌年度以降の取組方針を決定する。検証後，速やかに福山市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで